西山地区
コミュニティ協議会だより
【（西風）令和５年度８月号】
発行：西山地区コミュニティ協議会
会長　中村史傳
令和５年８月９日発行
薩摩川内市下甑町瀬々野浦 1194
TEL　09969-5-0122
FAX　09969-5-0355

これからの行事（８月の行事）

６日	道路愛護運動
７日	⑨事務局会議
10 日	夏祭り
12 日	蛭子祭り（船主会）
20 日	地域内清掃
〃	サロン食事会
21 日	⑩事務局会議
24 日	事務局会議

敬老会は９月 17 日（日）です
運動会は９月 24 日（日）です

夏の始まりは

河川愛護運動

当初６月18日(日曜日)に設定されていた河川愛護運動は降り続いた雨と川の増水にで、この日にはできなくなり、改めて７月16日(日曜日)の地区内清掃の日に再設定された。

お盆前でお墓の掃除も大事なことなので、そちらの要員も確保しながら、33名の方々が集まってこられた。この日他の行事もありましたが、たくさんの方が参加されました。河川床、護岸、隣接道路に分かれて作業を行い「河川愛護運動に参加できた喜びをかみしめておられました。

昭和20年この川で水害があり江川と双方で19名の尊い人命が失われました。（1名は関連死）

シリーズ５
故郷を深く浅く探る

真夏のまっさかり「ミナかつぎ」、「ユオかつぎ」の季節です。今年はてんぐさ（ブト）がはえず「ブトかつぎ」ができませんでした。

この潜水することをさす「かつぐ」は古語であるのです。万葉集には「かづく」として「伊勢の白水郎（あま）朝な夕なにかづくとふ（かづくという）あわびの貝の片思（かたもひ）いにして」の歌をはじめ、もぐることを表す「かづくをつかった歌がいくつかあります。

私はシンヌーラ方言の「かつぐ」や万葉集の「かづく」は「頭突く（か・つく）」からきていると考えます。

頭はシンヌーラ語で「かんぶい」、「かしや」、頭髪は「かんげ」などといいます。潜水する時は先ず頭を水面に突き入れて、両足は水面に突き立ててもぐっていきます。

この様子はあたかも水面に「かしら」をつくように見えます。かってのシンヌーラには「ユオかつぎ」、「ブトかつぎ」の熟練者、名人と言われる人もたくさんいました。

多くは鬼籍に入られた「かつぎ」名人・達人たちを思い出して話がもり上がることもしばしばです。

ゴールド集落自主活動

7月23日（日曜日）ゴールド集落自主活動が行われました。作業場所は上自治会・下自治会に分かれ、更にそれぞれ3組に分かれてかつての組々に分かれて6班で行われました。古町班は2名での作業でした。総勢34名で作業に当たり集落内の道の草が除去された感じです。画像は開田班の作業中の写真です作業後は左の画像になります。すっかりきれいになりましたが開田班の方々はこれでも納得いかなくて、支所の作業班の出番になりました下の欄の完成図を見て下さい。

左に反圃班の作業後も載せておきます。エンコウするなと言われそうですから。

下甑支所の作業班の皆様ありがとうございました。

作業後開田班の方々から上のほうにある木の枝が飛び出しているので何とかならないかとの相談がありました。支所に相談するとやってあげますよという事で作業班の方々が早速やってこられました。支所長さんはじめ職員の方々ありがとうございました。感謝しております。さらに個人の家の庭木が街灯を遮っているところも改善されました

ありがとうございました

道路愛護運動終わる

8月6日道路愛護運動が行われました。総勢43名の作業になりました。中野建設からも4名の方が機材とともにボランティア活動として参加されました。また五色産業からも4トントラックとトン袋が貸与され感謝の一日でした。余った時間はいつも手薄な旧西山小学校回りの草切に充てて今年は集落内がきれいになる年になりました。皆さんありがとうございました。前日には巡田建設から12名の作業員が　ボランティアに駆けつけられいつものようにきれいな道路になりました。

（次ページに続く）

道路愛護運動終わる２

巡田建設チームの作業後の写真

上・下
小学校周辺

磯レクレーションに12名参加しました

9年振りの事でした

男だけでも楽しかった。ここに女性がいればなお楽しかっただろうな

浜のゴミも集めて焼却しました。

別件ですが７月 13 日
助八古道の草刈り等道路整備
に参りました。
中村史傳会長・山下誠
山下和代・宮野武矩
大野由美子･宮野安弘でした。

オトッゲエ